

## 令和 2 年度使用小学校用教科用図書採択理由書

教科	種目	発行者	採 択 理 由
外国語	英語	啓林館	<p>□「資質、能力の三つの柱である「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性等の（かんよう）涵養」をバランスよく育成することができる構成・内容になっているか」という点について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「文字との出会い」では、難しさに配慮して、段階的に「書くこと」にむかえるように構成されている。また、文字の特徴への気づきを促すピヨちゃんというキャラクターが児童の学び（意欲を継続させる・単元のねらいが焦点化されている）を助けてくれる。</li> <li>・児童が知っている物語「大きなかぶ」が掲載されており、内容を考えながら文字に親しむことができる。</li> </ul> <p>□「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が図れる構成となっているか」という点について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ言語材料を用いながら、使用する場面や表現が広がるよう工夫されている。これにより、意欲や思考の継続が図れる。</li> </ul> <p>□「多様な学びを支援する教育の充実を図れる、工夫ある構成・内容となっているか」という点について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Unit4 では「夏休みの思い出」について、Unit5 では、「先週末のこと」を話題にして、Unit6 では、「小学校の思い出」について過去形を用いて表現する場面が続けて設定されている。取り扱う表現は過去形だが、場面が変わることで、内容に広がりや深まりをもたせることができ、豊かな言語活動につながっている。このことは、英語専科ではない教員も段階的に指導することができ、より指導がしやすい。</li> </ul>